

あなたにも知ってほしい 沖縄のエイズのこと

— パートナーのために、子供のために、
そして、なによりもあなた自身のために —

沖縄県のHIV陽性者数は人口比だと全国で2番目の多さです。
でも、報道で耳にするだけでは、知らないことも多いのではないのでしょうか？
エイズがこの世に現れて25年余、実は治療法は劇的に進歩してきました。
その歴史とともに知ってほしいHIVとともに生きる陽性者の姿があります
ほんの一時私たちと一緒に考えませんか？ うちなーのHIV事情を

総合司会 健山正男(第一内科 准教授)

講演Ⅰ HIV感染症の基礎講義

～HIVとAIDSの違いから最新の治療法まで～

仲村秀太(第一内科 医師)

講演Ⅱ HIVと共に生きること

～HIV陽性者の手記を通して～

読み手 津波信一(Team SPOT JUMBLE代表)

石川章子(看護師長) 他1名

講演Ⅲ HIV医療チームによるサポートの実際

～あなたやあなたの大切な人がHIVに感染したら～

比嘉 太(第一内科 講師)

宮城京子(HIV専任看護師)

大城市子(派遣カウンセラー)

石郷岡美穂(医療ソーシャルワーカー)

松茂良揚子(薬剤師)

2008年12月21日(日)

開場 午後1時30分 開演 午後2時
沖縄県立博物館・美術館 講堂(3階)

那覇市おもろまち3丁目1番1号 電話 098-941-8200
※那覇メインプレイスとなり

入場無料

主催:琉球大学医学部附属病院
(沖縄県エイズ中核拠点病院)

後援:沖縄県・沖縄県医師会・沖縄県教育委員会・沖縄県看護協会

琉球大学医学部附属病院 総務課総務係 担当:安座間・幸地

電話:098 895 1010 FAX:098 895 1090 E-mail:byssoumu@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

大学病院の活動状況を広く県民に知って頂き、「県民のための大学病院」という使命・役割を明確にし、地域医療への貢献、ひいては県民の健康増進に寄与することを目的としています。

沖縄県の HIV 陽性者数は人口比だと全国で 2 番目の多さです。
でも、報道で耳にするだけでは、知らないことも多いのではないのでしょうか？
エイズがこの世に現れて 25 年余、実は治療法は劇的に進歩してきました。
その歴史とともに知ってほしい HIV とともに生きる陽性者の姿があります
ほんの一時私たちと一緒に考えませんか？ うちなーの HIV 事情を

プログラム

総合司会：健山正男（第一内科 准教授）

| | |
|---------------|---|
| 14:00 ~ 14:10 | 開会挨拶 須加原一博（琉球大学医学部附属病院 病院長） |
| 14:10 ~ 14:40 | 講演 I 「HIV 感染症の基礎講義」～ HIV と AIDS の違いから最新の治療法まで～ 仲村秀太（第一内科医師） |
| 14:40 ~ 14:50 | 休憩 |
| 14:50 ~ 15:40 | 講演 II 「HIV と共に生きること」～ HIV 陽性者の手記を通して～ 読み手：津波信一（TEAM SPOT JUMBLE 代表） 石川章子（看護師長）他 1 名 |
| 15:40 ~ 15:50 | 休憩 |
| 15:50 ~ 16:20 | 講演 III 「HIV 医療チームによるサポートの実際」 ～あなたやあなたの大切な人が HIV に感染したら～ 比嘉 太（第一内科講師） 宮城京子（HIV 専任看護師） 大城市子（派遣カウンセラー） 石郷岡美穂（医療ソーシャルワーカー） 松茂良揚子（薬剤師） |
| 16:20 ~ 16:50 | 質疑応答 |
| 16:50 ~ 17:00 | 閉会の挨拶 藤田次郎（琉球大学医学部附属病院第一内科 教授） |

【交通機関のご案内】

- ・一般無料駐車場（140 台）完備
- ・バス停留所（おもろまち 2 丁目・県立博物館前）下車
沖縄バス（227 番）、琉球バス（223 番、227 番、263 番）
那覇バス（3、10、11 番）
- ・モノレールおもろまち駅 徒歩約 10 分

※ 当日、会場周辺は大変込み合うことが予想されますので、公共交通機関のご利用をお勧め致します。

◆ 沖縄県立美術館・博物館へのアクセス図

